

令和4年10月20日

関係国公立大学長
関係研究機関の長 殿
海外関係研究機関の長

千葉大学大学院園芸学研究院長 松岡 延浩

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は本研究院の教育研究にご支援・ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

さて、本研究院では下記のとおり教員を公募することにいたしましたので、ご高配のほどお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職名 特任助教（任期：令和7年3月31日まで ただし、予算状況および勤務状況に応じて更新の可能性あり）
2. 募集人員 1名
3. 所属 園芸学研究院附属宇宙園芸研究センター・宇宙園芸育種研究部門
大学院園芸学研究院・植物生命科学講座
4. 公募分野 宇宙などの特殊環境で生育し、食料の安定生産に資する園芸作物品種の開発に関する研究分野

5. 公募内容

千葉大学・国際高等研究基幹（Institute for Advanced Academic Research: IAAR）では、学際領域の開拓および新たな価値を創造するイノベーション創出を推進し、千葉大学の強みとなる優れた研究グループによる飛躍的な研究を支援しています。また、大学院園芸学研究院では、令和5年1月に宇宙園芸研究センターを設置予定であり、園芸学・工学分野における研究基盤と実績を活かしながら、宇宙環境で人間が活動していく上で不可欠な園芸作物の育種や栽培、資源循環に関する研究を開始します。この度、IAARの社会価値創造研究支援プログラムにおいて、本研究院から提案した「宇宙・極限環境等における長期居住のための食料生産・資源循環システムの構築」が採択されたことを受け、本研究プログラムに参画し、宇宙空間に特徴的な低重力・低圧といった特殊環境に対する植物の応答メカニズムや、そのプロセスに関わる個々の遺伝子機能を植物生理学や分子生物学の手法により明らかにすることで、宇宙環境における生育・生産に適した園芸品種の開発に意欲的・主体的に取り組める方を募集します。

*本プロジェクトや関連する研究内容については、以下のホームページを参照して下さい。

https://iaar.chiba-u.jp/research/article_social05.html

https://www.cn.chiba-u.jp/story_220725/

https://www.cn.chiba-u.jp/story_220819/

6. 着任時期 令和5年2月1日以降のできるだけ早い時期
7. 応募資格 博士の学位を有すること、又は着任時までには取得見込みであること
8. 給与等 千葉大学特定雇用職員給与規程に基づき、経歴・業績を考慮し決定
9. 応募書類（原則として返却しません）
 - (1) 履歴書（学歴は高校卒業から記入し、海外における留学および研究は、原則として6ヶ月以上滞在の場合を記入して下さい）
 - *履歴書については、所定の様式を千葉大学大学院園芸学研究院ホームページ (<https://www.h.chiba-u.jp/sitemap/teacher/format/index.html>) からダウンロードして作成して下さい
 - (2) 研究業績目録
 - A) 原著論文（査読のあるもの、可能であれば各論文の DOI も記載して下さい）
 - B) その他の論文
 - C) 総説等
 - D) 著書
 - E) 特許
 - F) 学会・研究会・講演会・シンポジウム・セミナーなどにおける発表：最近5年間の発表で、講演要旨集などに掲載された主要なもの10編以内（発表の総数をこの欄の最後に、ほか□□編と記入して下さい）
 - G) その他（受賞歴など）
 - (3) 論文の別刷など学術論文・著書のうち代表的なもの5編以内 各1通（コピー可）
 - (4) 科研費などの競争的資金獲得状況
 - (5) 現在までの研究概要と今後の研究の抱負（2,000字程度）
 - (6) 研究業績を問い合わせることのできる方（2名）の氏名と連絡先
10. 応募期限 令和5年1月31日（火） 必着
11. 応募書類の送付先および問い合わせ先
千葉大学大学院園芸学研究院植物生命科学講座 華岡 光正
〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 番地
電話 043-290-2970 E-mail: mhanaoka@faculty.chiba-u.jp
(注：書留による郵送が望ましいが、配達記録が残る宅配便もしくはEMS等も可。封筒の表に「宇宙園芸研究センター特任助教応募書類在中」と朱書きして下さい。その際、応募書類のPDFファイルを保存したメディア（CD-ROMなど）を同封して下さい）
12. その他
 - (1) 来学して面接およびセミナーを行っていただく可能性があります、旅費は支給されません。
 - (2) 研究業績について、追加の資料提出を求める場合があります。

以上